

医療費の適正化に取り組む千代田町の国民健康保険事業を調査

総務常任委員長 筑井あけみ

当委員会は、11月12日に邑楽郡千代田町を視察し、国民健康保険特別会計・健康事業について調査した。

調査経過

国民健康保険特別会計と健康保険事業は、この市町村においても運営に苦労している。

千代田町では、医療費適正化対策の取り組みの一環として、平成18年から国保ヘルスアップ事業を実施している。被保険者の健康保持・増進、生活の向上を目的として、医療機関等と連携し、保健師等が中心となつて、保健指導支援プログラムの策定を行っている。

また、医療費増加を抑制する目的から、健康ダイヤル（電話相談）事業を



実施している。平成19年度から開始し、民間企業に委託している。委託料は、年間120万円である。

考察

景気低迷と不況により、保険加入者は増加、反面国保税の収納率は下がっている現在、国民健康保険特別会計は大変厳しい状況にある。今後も、国保税の収

納確保と医療費増加の抑制は最重要課題である。千代田町を参考にし、当町も健康ダイヤル（電話相談）事業に取り組むべきと考える。すぐにでも研究検討することを強く要望したい。

また、国の助成事業である国保ヘルスアップ事業と国保保険指導事業も、同様に検討に値する事業ではないか。

ハツ場ダムはどうなる 下流地域として現場を調査

経済建設常任委員長 島田 栄一

当委員会は、10月29日にハツ場ダム（吾妻郡長野原町）を視察し、現状と課題について調査した。



ハツ場ダム建設予定地

考察

今、日本中で話題となり、注目されているハツ場ダム。地域防災センター「やんば館」を訪れる人は、45万人に上るといふ。

昭和27年に利根川改修改訂計画の一環として調査に着手してから57年の歳月が経過する。この間、多くの難題を抱え、紆余曲折を経て今日に至っている。

ハツ場ダムは、本体工事以外の関連工事は、80%完了しているとのことである。下流地域の玉村町にも、今後どのような影響があるのか。政権が変わり、今後どのように進展するか予想もつかないが、地元住民の生活再建を第一に考えてほしいと願うばかりである。

調査経過

ハツ場ダム建設の概要

目的

- ・洪水調節
- ・流水の正常な機能の維持
- ・水道用水及び工業用水の供給
- ・発電（群馬県）

規模

高さ…116メートル
総貯水容量…1億750万立方メートル

事業費

約4600億円
平成21年度までの執行見込額約3435億円（約75%）

※平成21年9月、国土交通大臣がダム建設を中止すると発言

町内小中学校における「いじめ」の現状と対策を調査

文教福祉常任委員長 村田 安男

当委員会は、12月7日に委員会を開催し、小中学校の「いじめ」の現状について調査した。

調査経過

ためのアンケート調査を実施し、結果を報告すること

考察

群馬県教育委員会は、桐生市の事件発生を機に、平成22年10月27日付で『いじめ問題等への取り組みの徹底について』通知を行っている。

●玉村町の現状（発生件数）
平成21年度
小学校3件、中学校15件
平成22年度（10月まで）
中学校4件

「いじめ」は、子どもにとって切実な問題である。その実態を早期に把握することが重要であると思う。教師や保護者などで早期発見に取り組んでほしい。また、子ども同士でいじめを解消していけるような気風づくりが必要では。

●玉村町のいじめ対策
日ごろから、教師と児童生徒との人間関係構築を推し進めるとともに、

毎月の校園長会で、各学校の様子を情報交換している。全員

で対応策を協議し、問題の共有化を図っている。



- 《内容》
- ①教師と児童生徒との信頼関係を構築すること
 - ②いじめほどの学校でも起こりうる。定期的に児童生徒から直接状況を聞く機会を設けること
 - ③いじめを認知した場合、速やかに校長、教頭、生徒指導主事へ報告し、全校体制で対応すること
 - ④いじめの実態を把握する

県町村議会議員研修会に参加

10月28日 吉岡町文化センター



西川孝純氏による講演

10月28日、県町村議会議員研修会が吉岡町文化センターで行われました。毎年開催されているこの研修会には、県内の全町村議会議員が参加します。玉村町からも、16名全員が参加しました。

東京大学名誉教授 大森彌氏による「地域主権改革とこれからの町村」、共同通信社特別編集委員 西川孝純氏による「菅政権と政治の行方」の講演でした。

最近の政治情勢を踏まえた興味深いお話を聞くことができました。これからの議員活動に生かしていきたいと思えます。

県町村議会広報研修会に参加

11月8日 群馬県市町村会館



11月8日、前橋市の群馬県市町村会館で行われた『町村議会広報研修会』に、議会広報特別委員6名全員が参加しました。

内容は、広報コンサルタント・山梨県町村議会広報研究協議会顧問の深沢徹氏による、「広報一般論」の講義と、実際に広報紙を講評する「広報クリニク」でした。当町の議会だよりもクリニクを受け、「Aクラス」の広報紙」と好評価を得ました。非常に参考になる、有意義な研修でした。

この研修を生かした、これからの議会広報にご期待ください。議会広報特別委員全員ガンバリます。